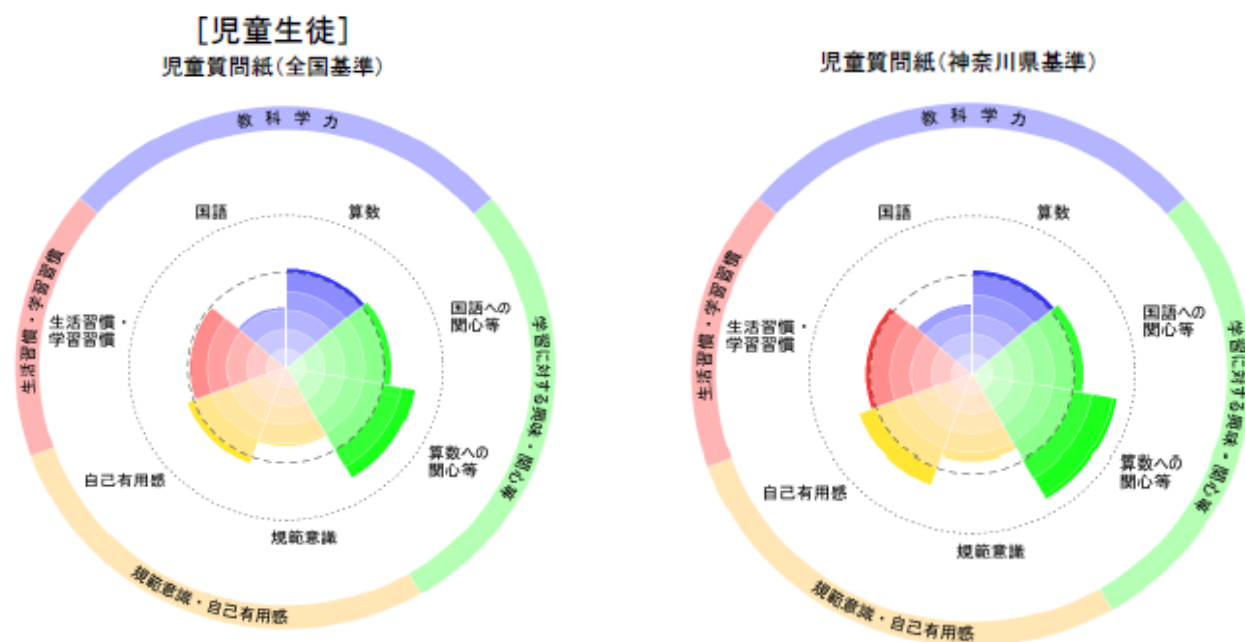


1 チャート及び教科別学習状況調査結果



○平均正答率 国語

	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能
上川井小	57.1%	39.0%	77.1%	27.4%
神奈川県	69.1%	52.7%	80.3%	49.2%
全国	72.3%	54.5%	81.7%	53.5%

「話す・聞く能力」「書く能力」「読む能力」「言語についての知識・理解・技能」の4観点全てにおいて、全国平均を下回っている。特に、「学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく使うこと」「目的や意図に応じて自分の考えや理由を明確にし、まとめて書くこと」「接続後を使って内容を分けて書くこと」について、課題があるという結果になった。文を書くことに対する苦手意識を減らせるよう、日常の学習の中で、文を書いたり、考えや理由を明確にして書いたりする活動を取り入れ、自分の考えを文章にして表現する力をつける必要がある。

○平均正答率 算数

	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解
上川井小	63.9%	72.9%	71.4%
神奈川県	63.0%	73.4%	69.7%
全国	62.2%	73.6%	70.1%

「数学的な考え方」「数量や図形についての技能」「数量や図形についての知識・技能」の領域全てにおいて、全国平均とほぼ同じ結果を残すことができた。特に、「 $600 \div 15$ を計算しやすい式にして計算する」「複数の数量から必要な数量を選び、立式する」ことが秀でていた。課題としては、計算の仕方を言葉で説明する設問が全国平均に比べて低いことが挙げられる。計算の仕方は理解しているものの、言葉で説明することが苦手であるので、自分の考えを説明する活動を多く取り入れて、筋道を立てて思考する習慣を身につけさせたい。

## 2 「児童質問紙」回答から見えてくる児童の意識、生活習慣、学習習慣について

	上川井小学校	全国
自分には、よいところがあると思っている児童	45.7%	38.8%
人が困っている時には進んで助けている児童	45.7%	40.4%
学校のきまりを守っている児童	17.1%	46.7%
人の役に立つ人間になりたいと思っている児童	74.3%	74.7%
朝食を毎日食べている児童	80.0%	86.7%
毎日、同じくらいの時刻に寝ている児童	42.9%	38.9%
毎日、同じくらいの時刻に起きている児童	54.3%	58.7%
家で、自分で計画を立てて勉強をしている児童	25.7%	33.1%
平日に1時間以上家庭学習をしている児童	51.4%	66.1%
1日あたり、1時間以上読書をしている児童	25.7%	18.3%
地域や社会をよくするために何をすべきか考えている児童	8.6%	18.9%
地域の行事に参加している児童	37.1%	37.2%

児童の回答から、本校の6年生児童は、「学校のきまりを守っている」に「当てはまる」と回答した児童が17%と少ないことから、規範意識の低さがうかがえる。「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童と合わせると80%にはなるものの、それでも全国平均と比べると差が大きい。

しかし、「人の役に立つ人間になりたい」と回答した児童が97.2%いることや、「困っている時には進んで助けている」と回答した児童が91.4%いることから、様々な行事を学校の代表として牽引していく中で、責任感が生まれ、成長している実態もある。最高学年として認められる中で、自尊感情が高まってきていると考えられる。

「家で、自分で計画を立てて勉強している」と答えた児童が25.7%いるものの、「平日に1時間以上家庭学習をしている」と答えた児童が全国平均と比べて低くなっている。上小ホームワークが家庭学習定着の要因となっており、算数の学力向上につながっているものの、自ら進んで課題を見つけて学習している児童が多いとは言えない実態がある。上小ホームワーク自体は30分あれば仕上げる内容であるため、1時間以上学習するにはさらに学習内容を考えていく必要がある。そのため、上小ホームワークは引き続き継続しつつ、自分で興味関心のある課題を見つけ、課題について調べたり追及したりする課題に取り組んでいけたらよいと考える。